

## 第5回地盤探査研究会

### ～ 屈折法地震探査解析技術継承のためのシンポジウム ～

屈折法地震探査(弾性波探査)は、土木地質調査において‘ブタン’と称されるぐらい物理探査法の中では一般的で広く適用されている代表的な手法です。

日本で生まれ広く適用されてきた解析手法「ハギトリ法」は、近頃ではトモグラフィ解析と併用することが多くなりましたが、今後もその重要性は変わりません。

そこで、屈折法地震探査が最も多く適用された頃から活躍されてきた財津さん、吉田さんを講師にお迎えして、ハギトリ法による高度な解析方法および解釈方法のノウハウについて話しをお伺いしたいと思います。

また、ハギトリ～トモグラフィ世代の斎藤さんに適用方法に関する話しをしていただき、ハギトリ法とトモグラフィ法の併用に関する留意点など、学会として共通の認識を深めたいと考えています。

皆様、奮ってご参加ください。なお、ご参加される方は、当日直接会場へお越しください。

1. 名 称 : 屈折法地震探査解析技術継承のためのシンポジウム
2. 開催日時 : 平成 22 年 1 月 12 日(火) 13:00～17:00
3. 会 場 : 早稲田大学国際会議場 3 階第一会議室
4. 会 費 : 3,000 円(テキストを含む), 60 歳以上,30 歳以下の方は無料
  
5. 講師及びタイトル:
  - 1) 財津敏郎(元、サンコーコンサルタント(株))「ハギトリ法による解析のプロセスと留意点」
  - 2) 斎藤秀樹(応用地質(株))「ハギトリ法とトモグラフィ解析」
  - 3) 吉田壽壽(日本物理探査(株)社友)「トンネル地質調査への弾性波探査の適用」
  
6. 問い合わせ先  
〒101-0031  
東京都千代田区東神田 1-5-6 MK 第 5ビル 2F  
社団法人物理探査学会 事務局  
電話・FAX:03-6804-7500  
E-mail:office@segi.org
  
7. 技術士の継続教育(CPD)時間認証について  
本学術講演会参加者には、会員・非会員に拘わらず参加認定証を交付致します。

以上